

第5回キャリア教育推進連携表彰 最優秀賞受賞

「ものづくり都市・京都」の特性を活かし
産学公連携・市民ぐるみで進める
生き方探究(キャリア)教育

モノづくりの殿堂 京都



京都子どもモノづくり事業推進委員会
委員長 松重 和美
(四国大学学長, 京都大学名誉教授)

自分たちも夢をあきらめずに一生懸命頑張っていたらいいと思います。この勉強をやらなければこんな気持ちにならなかったと思います。

学校での課題と京都のキャリア教育の特徴

課題：教育上の二つの乖離①と離れ②

- ①「学校での学び」と「家庭生活・社会生活」
「学齢期の学び」と「社会に出てから生きていく力」
- ②子どもたちの「ものづくり離れ」・「理科離れ」

歴史：京都の復興・近代化は人材育成から

- ①番組小学校(町組会所・竈金)と新英学校・女紅場の設立
- ②伝統工芸から先端産業までが共生する「ものづくり都市」

特徴：“ものづくり京都”の学びを産学公・市民が支援

- ①「創造性」・「社会性」・「主体性」を育む(全市対象)
- ②産学公連携・市民ぐるみで小中学生がモノづくりを学び、
体験する機会を創出(資金, 組織, ボランティア)
- ③「京都のものづくり」を体得し, 将来地域の活性化に貢献

京都まなびの街 生き方探究館



- 統廃合の中学校を活用
- 学校の授業の一環としての体験学習
 - ・スチューデントシティ・ファイナンスパーク学習（平成19年1月開設）
 - ・モノづくりの殿堂・工房学習（平成21年2月開設）

モノづくりの殿堂
京都

「殿堂・工房学習」実施校の拡大

開設時(H20年) 3校・206名 でスタート
現在(H27年)155校・9,296名(予定)

「生き方探究館(全体)」

年間延456校, 36,200人が学習(27年度)

活動を支える多くの産学公市民ボランティア・事業所

- スチューデントシティ・ファイナンスパーク : 延5,110名が活動
- 京(みやこ)モノレンジャー等(企業ボランティア含む): 延1,450名が活動
- 生き方探究・チャレンジ体験 : 約3,700事業所

みやこ
京モノレンジャー

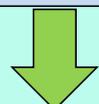


京都こどもモノづくり事業推進委員会

委員長: 松重 和美 (四国大学学長, 京都大学名誉教授)

委員: 36名 (産業界, 大学, 報道, PTA, 学校関係者, NPO, 産業観光局・教育委員会)

企画案・事業実施状況等の報告



企画案の確認・指導助言

ワーキンググループ

モノづくり倶楽部
グループ

小中学生の発達段階, 興味・関心及び知識・技能を踏まえたプログラム・教材の開発, 実施場所の拡充及び関係団体の相互連携による運営方法の構築

部会長: 太田稔
(京都工芸繊維大学教授)
委員: 16名
(企業, 学識経験者, 学校, NPO, 教育委員会 他)

モノづくりの殿堂・工房運営グループ

モノづくり学習プログラム
作成部会

殿堂・工房を活用した学習プログラムの開発と活用方法の研究

部会長: 谷垣哲也
(島津製作所執行役員広報室長)
委員: 21名
(経済団体, 殿堂参画企業, 学校, PTA, NPO, 教育委員会 他)

殿堂・工房活用部会

学習プログラムに基づいた工房での体験学習プログラムの作成とその運営

部会長: 谷口哲也
(日本写真印刷コーポレートコミュニケーション室長)
委員: 14名
(殿堂参画企業, 学識経験者, 学校, NPO, 教育委員会 他)

至高の動くおもちゃ
グループ

企業・大学の技術的・物的支援及び関係団体の連携により, 大会の環境整備等の充実を図るとともに, 中学生以上を対象とする新規事業実施の調査検討

部会長: 豊田寿美夫
(京都市図画工作教育研究会副会長)
委員: 16名
(経済団体, 企業, 学識経験者, 教育委員会 他)

毎年PDCAサイクルを実施

みやこ・少年
モノづくり
倶楽部
Core



・木工・電子工作・伝統工芸
・プログラミング・自転車...



- ・自作のゴム動力車で競う
- ・スピード, 距離, 動き, デザイン

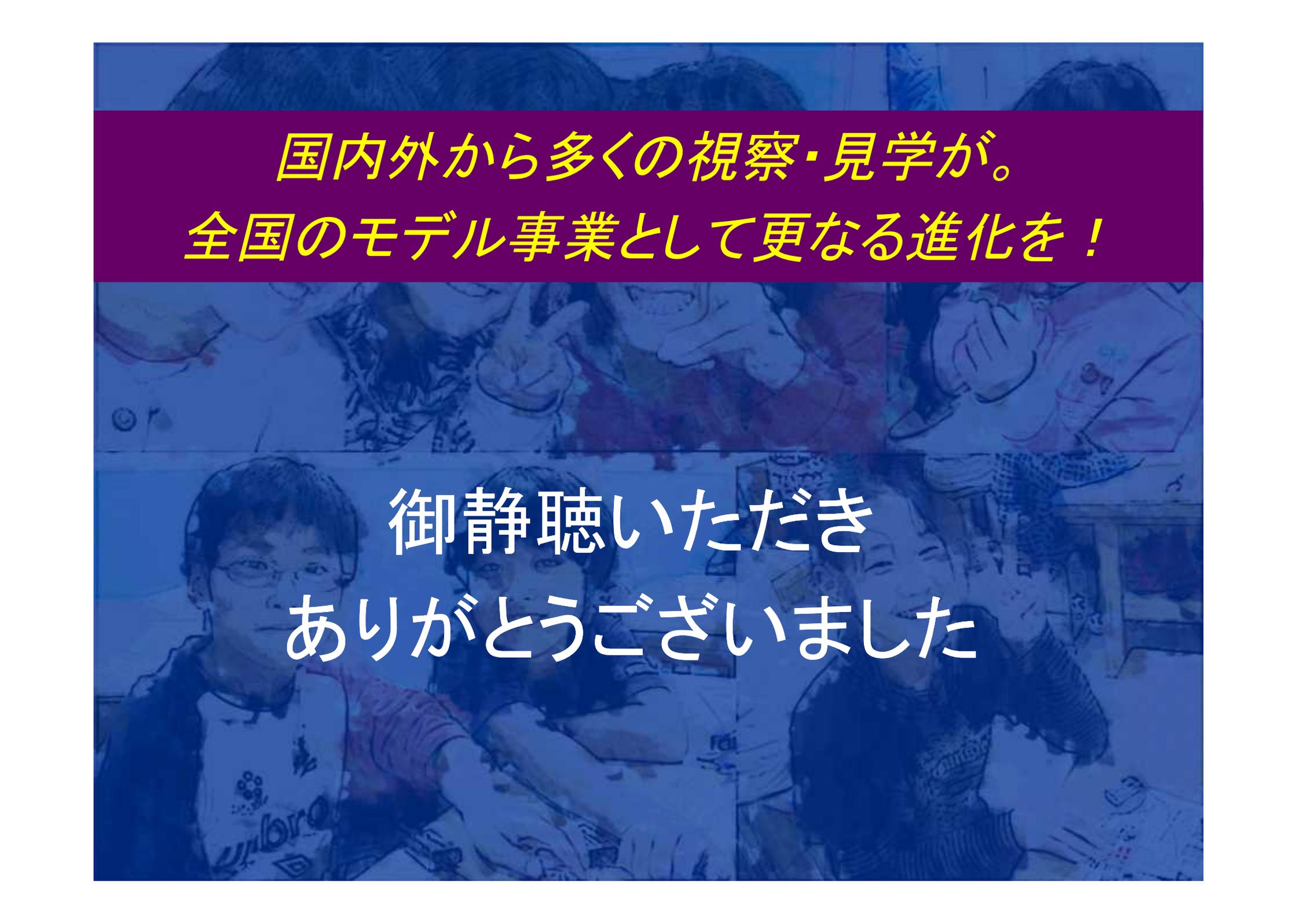


(A)児童アンケートから

- ・ 実際にもものをつくってできあがった時、とても嬉しくなりました。
- ・ 私は自分の得意な仕事をやりたいと思いました。なぜなら、自分のことを活かしたいからです。
- ・ 世界に広がるものを京都が作っていて、京都に住んでいることがとても誇りに思えました。
- ・ 自分たちも夢をあきらめずに一生懸命頑張っていけたらいいと思います。この勉強をやらなければこんな気持ちにならなかったと思います。

(B)指導者アンケートから

- ・ モノをつくるときのむつかしさや素晴らしさ、そして完成したときの喜びを学ぶことができ、子どもたちの顔が生き生きしていました。
- ・ 製品のすごさを目で見ることで自分が製作させてもらったものの価値が分かったと思います。自分の夢について考える児童もたくさんいました。
- ・ モノレンジャーの方に様々なことを教えていただき、子どもたちは、その教えてもらったことを得意げに友達や教師に教えてくれました。普段自分の考えを伝えにくい子も嬉しそうに話してくれました。



国内外から多くの視察・見学が。
全国のモデル事業として更なる進化を！

御静聴いただき
ありがとうございました